

## 学校経営のポイント

### “希望と計画と実行”のある1年に

若井 彌一

謹賀新年 “白雪仰ぎ 初湯に入りて 酉年の夢窓に朱鷺”(新年の都々逸)

昨年は、災害の多い受難の1年であったが、生命あって新年を迎えることができたことをともに喜びたい。

#### 震災山古志小・中の始業式と書初め

昨年の災害のうちでも、新潟県中越地震の被害はとくに深刻であるが、地震で全村が避難してはいるものの、困難に負けずに元気に頑張っている小・中学校の始業式の様子が地元紙『新潟日報』で紹介された(1月8日朝刊)。

被災地の山古志小学校と山古志中学校が、現在、長岡市内の学校に「間借り」している状態での始業式の様子の一部である。

「阪之上小学校で行われた山古志小の始業式では、蒲沢賢吉校長が、『3学期は家族の一員として、自分のできるお手伝いをしよう』とあいさつ。全校児童82人が元気よく校歌を合唱した。この後、3～6年生は玄関脇のフロアで書初め大会を行った。児童は、背筋を伸ばし、『希望の朝』『明るい年』など、1枚1枚に心を込めた。」

地震による被害を受けている学校、児童・生徒はほかにも多数にのぼっているが、これまで味わったことのないつらい体験が自分たちを鍛えているのだと思って、悲観的にならずに、明日に向けて地道な努力を重ねていただくことを願ってやまない。

被災地の人々や児童・生徒、教職員の気丈夫な頑張りは、「経済力」「学力」など、昨年のオリンピックやパラリンピックでの活躍を例外として、いわゆる「右肩上がり」ではなく、「右肩下がり」の傾向

に意気消沈になりがちな他の人々、児童・生徒にも大きな励ましとなるにちがいない。

各学校単独でもよいし、教育委員会のホームページを活用させていただく方法でもよいが、被災地学校の元気な取り組み状況を、新聞等の報道にゆだねる(頼る、待つ)だけでなく、可能な範囲で自ら発信することに意を用いていただくよう、関係者に強くお願いしておきたい。

#### 焦らずに“羽ばたきの学び”挑戦を

昨年は、いくつもの自然災害でパンチを食らわされただけでなく、国際的な学力調査結果の面でも、「下がっている」(相対的とはいえ)ことを実感させられた(本紙前号 98号 で解説)。

しかし、児童・生徒の学習力の全体を見失って、学習結果としての知識量の多寡のみを重視して、短時間に、学習事項の意味をよく考えることなしに、とにかく暗記することによって達成できる学習課題の設定とその確認(テスト)を主とする学校学習に走ったり、傾いたりする焦りについての自戒を、教職員はもちたい。

児童・生徒の生活者としての生活意欲、その生活意欲に支えられた学習意欲の向上(工夫ある学習(工夫ある指導が導きとなる)による学びの喜びや達成感、困難な学習課題への挑戦意欲等を促すなど、いわば「羽ばたきの学び」をイメージし、その構想(大計)をふまえた、具体的な学習指導計画と実践に果敢に立ち向かう年にしたい。

(わかい・やいち=上越教育大学教授)

2月初旬刊 予約受付中! 新年度学校経営の指針  
『教職研修 '05 情報版』

### 『教職研修資料』メール配信のお知らせ! (<http://www.kyouiku-kaihatu.co.jp/kenshu>)

『教職研修資料』のご愛読、ありがとうございます。

さて、本紙は、過去4年の間、学校経営版(学校あて)・教育行政版(教育委員会あて)を月に各2回、FAXにより配信してまいりましたが、個人あてに配信してほしい、学校経営版も教育行政版も両方読みたい、など、読者諸先生からの強い要望もあり、05年1月15日から配信方法を次のように変更してご要望にお応えすることにいたしました。学校経営版・教育行政版の区別をなくし、月4回配信する。配信は、メール配信とする(携帯あては不可)。月4回配信のうち、1回は従来どおりFAXでも配信する(FAXの個人あては不可)。

つきましては、メール配信をご希望される先生は、標記のURLにて必要事項をご明記のうえ、あらためてお申し込みくださるようお願いいたします(購読料は無料・個人購読も可)。